



長門の話題 Topics

道の駅「センザキッチン」がグランドオープン

食べる・遊ぶ・つなぐ交流拠点へ

4月20日(金)、道の駅「センザキッチン」がグランドオープンし、関係者ら約140人が出席して記念式典が行われました。

式典では大西市長が「センザキッチン」を目的に来てもらい、これから元乃隅稲成神社や千畳敷、温泉などに足を運んでほしい」とあいさつ。式典後、関係者らでテープカット

トとくす玉割りを行い、オープンを祝いました。

センザキッチンは平成27年度から平成30年度にかけて長門市が仙崎地区に整備。平成29年10月7日に農林水産物等直売所・レストラン棟がプレオープン、同年11月17日に国土交通省により県内24番目の道の駅として登録され、この日全面開業しました。



▲テープカットとくす玉割りでオープンを祝う



▲長門市のグルメを求める来場者で賑わう軽食コーナー

人気観光地へのアクセスが便利に

新たに交流施設と駐車場が完成

龍宮の潮吹一帯の渋滞緩和を目的に整備が進んでいた「龍宮の潮吹第1駐車場」が完成し、4月28日(土)、利用が開始されました。

駐車場とあわせて新設された「龍宮の潮吹交流施設」の管理・運営は、地元の津黄地区活性化協議会(会長・岡村利明)が行っており、地元で取れたイカやワカメのほか、

蒲鉾、瓶詰めウニ、ゆずきちゼリーなどの特産品を扱っています。大型連休中は、市内外からの多くの観光客であふれかえり、特産品を手にとつては、買い求める姿が見られました。

第1駐車場は乗用車92台、二輪車約20台、バス6台が駐車可能で、第2駐車場は有料となりました。



▲大型連休中、多くの観光客が訪れた第1駐車場



▲交流施設は販売所とトイレを兼ね備え、利便性が向上

長門の People



木のおもちゃと一緒に海のクルーズへ。

たむら まさみ
田村 昌美さん

(青海島観光汽船株式会社 キッズクルーズ船船長／東深川在住)

青海島観光汽船株式会社に勤務する田村昌美さん。4月にセンザキッチンにオープンした長門おもちゃ美術館の目玉の一つ、海上を運航するキッズクルーズ船「弁天」の船長を務めています。

「乗船してくれた子どもたちは、船長体験や木のおもちゃを楽しくできています。橋の下をくぐった時とか声をあげて喜んでますよ」と船内の様子を話す田村さん。キッズクルーズ船の魅力について「長門の木をふ

んだんに使い、きれいな海も見れて、長門の魅力をすべて取り込んで体験できるところ。そして内外装がインスタ映えるので、船の写真を撮る人が多いんですよ」と語ります。

「子どもたちが乗るので、船とすれ違うときなど、波で船体が揺れないよう操船には十分気を付けています。約20分の航海ですが、ぜひ多くの人に乗っていただき、満足して帰ってほしいです」と意気込みを語ってくれました。



▲キッズクルーズ船は長門おもちゃ美術館で乗船可能

旬 な人

甘酒を通して向津具地区を多くの人に知ってもらいたい

「のむおまもり」を商品開発

向津具地区を担当する地域おこし協力隊の大迫思織隊員が、向津具の棚田米を使った日本酒の酒粕を使い「のむおまもり 向津具の甘酒」を商品開発し、4月26日(木)、市役所を訪れ大西市長に完成を報告しました。この甘酒はセンザキッチンや龍宮の潮吹交流施設などで販売されます。



▲「観光客への新たなお土産物に」と大迫隊員

大型連休にあわせ、みずぎ通りを歩く魅力づくり

「仙崎軒先MARKET」開催

5月3日(木)、4日(金)の2日間、みずぎ通りを中心に「仙崎軒先MARKET」が開催されました。仙崎地区を担当する地域おこし協力隊の中田晃司隊員が企画したもので、家の軒先や空きスペースなどを利用して特産品や手作り雑貨などが販売されました。



▲手作り雑貨などを軒先で展示・販売